

中国横断自動車道尾道松江線(口和地区) 防災対策検討委員会 結果概要

中国横断自動車道尾道松江線(三次～三刀屋木次)は、平成24年度に暫定2車線で全線開通しており、現在、口和IC～高野IC間における付加車線の整備を推進しています。

整備を進める中、基準類の改定や軟弱地盤の出現などにより、事業計画を見直す必要が生じました。

事業計画の見直しにあたり、技術的助言を頂くことを目的に、有識者で構成する「中国横断自動車道尾道松江線(口和地区)防災対策検討委員会」を設立し、事業計画の見直しについて妥当と判断されたので、公表します。

■開催日 : 令和8年2月18日(水) 10:30～12:00

■委員 : ◎西垣 誠 岡山大学名誉教授
進士 正人 山口大学 特命理事・副学長(地域連携担当)
岡崎 泰幸 広島工業大学 工学部 環境土木工学科 講師
※敬称略 ◎委員長

■審議内容

- ・事業計画の見直し(事業費の見直し) +約120億円
 - ①擁壁構造の変更 +約 8億円
 - ②軟弱地盤対策の追加 +約13億円
 - ③土石流対策の追加 +約 9億円
 - ④トンネル施工計画の見直し +約68億円
 - ⑤労務費・物価上昇による増額 +約22億円

■委員からの主な意見等

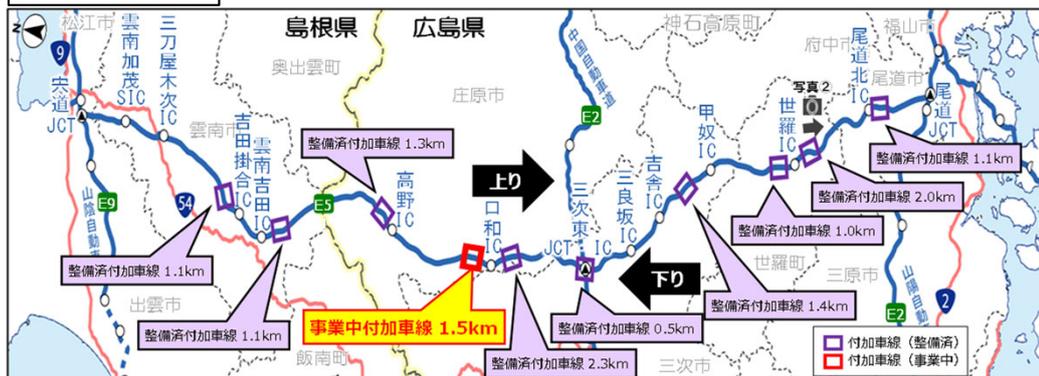
- ・中国横断自動車道尾道松江線(口和地区)において、今回確認された事業計画により事業を進めていくこと、およびこれに伴い事業費を見直すことは妥当。

位置図

中国横断自動車道尾道松江線
(三次～三刀屋木次)



検討区間



事業計画の見直し

- ①擁壁構造の変更 ②軟弱地盤対策の追加 ③土石流対策の追加 ④トンネル施工計画見直し

